

# 冬と春の混在した GW の尾瀬

大阪ぽっぽ会 細井裕子

<b>日程：2018年5月3日（金）～6日（日）</b>
<b>目的：テント泊縦走</b>
<b>メンバー：細井、他1名</b>
<b>行程：</b> 5月3日 大阪発東京行夜行バス 5月4日 東京～沼田（電車） 沼田～大清水（バス） 大清水～尾瀬沼ヒュッテ 5月5日 尾瀬沼ヒュッテ～（長英新道）～燧ヶ岳・俎グラ～尾瀬沼ヒュッテ～大清水 大清水～沼田（バス） 沼田～大宮（電車） 沼田発大阪行き夜行バス 5月6日 大阪着

## プロローグ

好日山荘からのメールに、真っ白な雪に包まれた尾瀬の写真があった。雪山に自分の力で行くことにこだわり始めたそのころの私は、いつかここに行きたい！と思った。

自身の事業「アウトドア手話企画―等高線―」の企画にお客さんとして参加した静岡の男性 A さん。尾瀬にはもう何度も行っている A さんが尾瀬を案内してくれるというので、それなら雪の季節に行かないかと話を持ち掛けたところ、春がいいよといわれ、この GW の連休を利用していくことになった。

## 5月4日（土）曇り時々雨のち雪

バスで登山口となる大清水に到着。出発準備を始めていると早速の雨。

オオカメノキの冬芽



支度を整え歩き始めると雨が止んだ。一ノ瀬まで林道歩きが1時間。単調だなぁと思っていると、眼の前に全身コバルトブルー色の鳥が舞い降りてきた。ルリビタキ？オオルリ？ 珍しい姿に夢中でカメラを向けるが逃げないでフレームに収まってくれる。ちょうど1時間位で一ノ瀬の休憩所に到着。なんとこの距離だけのバスが出ていると聞き驚く。休憩

後少し歩くといいよ本格的な山道へ。この頃からまた雨。途中から階段の登りが続き、ちょっと一息つこうか、と思ったその場所にちょうど岩清水が沸いていた。安全かよくわからない水を口に含み、気持ちも新たに今日の最後の上り坂、十二曲りを行く。ここを越え樹林帯に入ったくらいから雨が雪へと変わる。樹林帯なのであまり分からないが、結構吹雪いているようだ。今回、悪天予報を聞いて冬用ヤッケを着てきたが正解だった。こんな吹雪の歩きも快適。「万歳」しているオオカメノキの芽を見てはしゃいでいると三平峠あたりから尾瀬沼が視界に飛び込んできた。ついに来た！

尾瀬沼とその背後にうっすら見える燧ヶ岳の様子をカメラに収めつつ歩いていると、水芭蕉の群落が。あとは平坦地。悪天候の中もひたすら楽しい。幕营地、尾瀬沼に到着しテントを張り終えた頃には青空がのぞき、燧ヶ岳もくっきりはつきり見えていた。明日に期待。

## 5月5日（日） 曇り時々雪のち晴れ

朝起きてご飯の支度をしていると頭上で「さらさら…」と音が。テントから外をのぞくと数cm積もっている。前日夕方までの晴天が嘘のよう。安定しない天候だが好天に向かうはずなので、予定どおり出発する。本日のコースは長英新道。初めの方は傾斜も穏やかでアイゼンなしで歩ける。ガイドマップで「急坂」と書かれたあたりで尾瀬沼が見えた。Aさんが、「ここで写真を撮っておかないと、上は雲の中だと思うよ」と言うので、記念撮影。ついでに、ここから間違いなく傾斜がきつくなると思いアイゼンを装着。この読みが正しく、地形図を読み解けたことに一人ご満悦になる私。標高があがるにつれ、風がきつく、降雪も激しくなってきた。晴天はどこに？ 山は半年ぶりくらいというAさんが無事ついて来れているのか、たびたび後ろを振り返るが、しっかりとした足取りだ。良かった。初めての場所ではあったが、トレースもついていたので、ほぼ迷いなく進んでいける。ナデツ窪道との合流地点を越えると雪は薄くなり、代わりに岩がゴロゴロした道となる。アイゼントレに良い感じ。ふと見ると、先方に小学生の男の子が歩いている。小さなアイゼンを駆使して、大きな段差を頑張って越えている。この荒天の春の雪山を来るなんて、すごいぞこの小学生。なんてことを思いながら歩いていると山頂の俎グラに到着。時間は11時。雪は止まないが、ときど

きガスの切れ間から尾瀬沼や至仏山が見える。ずっと見たかった、雪の尾瀬沼の俯瞰図。これだこれだ！と一人心躍らせる。時間があれば、柴安グラまで行きたかったが、往復に最低1時間は必要。行ってしまうと最終バスには乗れなくなってしまうので潔くあきらめ下山を開始した。下りは早い。13時には尾瀬沼ヒュッテに着いていた。この頃にはすっきりした青空が広がり恨めしいくらい。小屋のデッキで昼ご飯を食べながら、青空に包まれた燧ヶ岳を心行くまで眺めた。

ヒュッテを発ち尾瀬沼山荘から峠に向かおうとすると、下からAさんが、「細井さん！」と呼び止める。何かあったかとびっくりして振り返ると「尾瀬沼が見えるのはここまでだよ」と。バスの時間に必死になっていた私。その心憎い言葉にハッとさせられた。「バイバーイ。また来るね〜！」そう一言沼に挨拶し、次は「秋の至仏山に行こう」と心に誓って、尾瀬沼を後にした。

## エピローグ

今回の山行は行くまでが核心だった。

GW後半の天気は初日大荒れ予報が出たため、出発を1日遅らせ、当初予定の百名山2座登頂予定をあきらめ、燧ヶ岳登頂だけを狙った。結果、さほどの荒天に巻き込まれず、冬山と春山の両方の尾瀬を楽しむことができた。

行先変更に伴う交通手段の変更でそれにかかる諸手続と、天候判断にぎりぎりまで悩まされた。がしかし、終わり良ければ全て良し。自家用車から公共交通機関に変更したアクセスは電車好きな私には思いのほか面白かった。帰りの尾瀬発バスは最終から一つ前に乗り途中下車しお風呂に入り、改めて最終バスを捕まえて沼田駅まで移動という荒業をやったのけた。沼田駅では美味しい蕎麦屋を見つけることができた。確かに関西からは遠い尾瀬だが、公共交通でも行けるんだ、ということが分かった。

次は長蔵小屋にでも泊まって、ゆっくりと秋の尾瀬を楽しめたらいいな。

